

# 高校生からの質問を 紹介します



7月9日(木)に高校生議会を開催し、茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校の生徒が高校生議員として議会に参加しました。こちらのページでは、参加した9名の高校生議員が、町のさらなる活性化のために、それぞれどのような質問をしたのかをご紹介します。

## 1番議員 ● 片見さん

町内における防犯カメラの設置拡大や街灯の増設など、具体的な防犯インフラの整備を町としてどのように加速させる方針か。また、警察や地域と連携したパトロール体制の強化など、町独自の具体的な防犯対策について伺いたい。

## 「答弁」

町内には現在複数の防犯カメラや防犯灯を設置している。今後も犯罪発生状況や地域からの要望を踏まえながら、増設や整備を進めていきたい。また、警察をはじめ、自主防犯組織、防犯ボランティア、自治会など関係機関との連携を一層強化し、今後も合同パトロールや見守り活動、防犯キャンペーンを継続的に実施していく。

## 2番議員 ● 森元さん

公共施設の一部を学習・交流スペースとして開放したり、Wi-Fi環境を整備した「学生向けの場」を創設したりする考えはあるか。また、若者が集まるような活気があふれるまちづくりに向けた、町の見解と今後の具体的な取り組みについて伺いたい。

## 「答弁」

昨年7月から、桂図書館の2階を学習室として開放している。また、Wi-Fiについては役場本庁舎をはじめ、コミュニティセンター、城里、常北公民館については整備済みとなっている。桂図書館については1階は既に整備済みだが、2階の学習室についても今年度中に整備予定であるため、ぜひ今後は「学生向けの場」として活用していただきたい。

## 3番議員 ● 徳田さん

城里町の豊かな自然や既存の施設を活かし、幅広い世代が気軽に参加できるスポーツフェスティバルなどを新たに企画・開催する

考えはあるか。スポーツを通じた活気あるまちづくりへのビジョンについて伺いたい。

## 「答弁」

毎年12月にマラソン大会を実施しているが、今年はしるさと大使であり日本のトップランナーとして活躍された平塚潤さんをお招きする予定である。また、大会前には平塚さんによるランニング教室も開催予定であり、幅広い年齢層の参加を期待している。さらに、自然を活かしたイベントとして毎年11月に「御前山トレイルラン大会」を開催している。他にも、中学生向けの球技大会や小学生が親子で参加できるスケート教室など、さまざまなスポーツを通して活気あふれるまちづくりに努めている。

## 4番議員 ● 園部さん

農業に携わる人の高齢化や担い手不足等の理由により、城里町には耕作されていない農地が多く存在している。城里町における農業の今後の在り方について、どのような意見をお持ちか。農業を通じたまちづくりについてのビジョンを伺いたい。

## 「答弁」

若い世代へ農業の魅力を伝える機会を増やし、次世代の担い手の確保に繋げていきたい。また、農産物のブランド力の強化、生産加工・販売などの推進に加え、学校・企業・地域の方との連携を図りながら体験事業やイベントを開催するなど、今後は農業を通じたまちづくりを積極的に行っていく。

## 5番議員 ● 吉見さん

ポイ捨てが多い箇所への警告看板の設置やゴミ箱の適切な配置、さらには学校や地域と連携したクリーン作戦の実施など、具体的なポイ捨て防止策についてどのように考えているか。また、環境美化に向けた啓発活動の強化について町の方針を伺いたい。

## 「答弁」

不法投棄を警告する看板を町内に約3百枚設置し、ポイ捨て防止の啓発を行っている。また、春と秋の年2回、町内一円で環境美化クリーン作戦を実施し、毎回約7千人の方々



# 城里町高校生議会



に参加いただき、1回につき約2トンのごみが回収されている。これらに加え、今後は広報紙やホームページなどさまざまな媒体を活用して啓発活動を強化していきたい。

## 6番議員 ● 粉川さん

現在、城里町を走るバスの運行について本数が限られている。バス事業者と連携し、通学・通勤の時間帯の増便や、休日を含めたダイヤの改正による利便性の向上について、町として働きかける考えはあるか。また、町独自のデマンド交通との連携など、今後の公共交通の充実へ向けた展望について伺いたい。

## 【答弁】

常北地区と七会地区を結ぶ路線や、城里町と赤塚駅、内原駅を結ぶ路線が整備されるなど、ここ12年間でバスの運行先を徐々に増やしているところではある。また、常北校の生徒会からの提案により、バスの時刻表も一部見直されている。デマンド交通との連携に関しては、確かに高校生は運転免許証を持っていないため、65歳以上の高齢者と同様、町の福祉タクシーを利用できるようにするのも一つの方法である。ぜひ今後検討していきたい。

## 7番議員 ● 大島さん

学校やクラスにより、授業における生成AIの活用に偏りがあると感じる。学校やクラスによる格差がなく、私たち生徒がAIを活用した最先端の学びを安心して受けられるよう、町として環境やルールを整える考えはあるか伺いたい。

## 【答弁】

とても重要であり非常にタイムリーな質問である。常北校については県立高校のため、茨城県教育委員会が管理をしている。そのため、茨城県議会でのような審議がなされているかに今後は着目していただきたい。また、城里町教育委員会では、現在町内の5つの小学校と2つの中学校を管理しているが、AI教育の基本方針として、児童生徒の学習の質の向上へ寄与することを前提に、文部科学省や茨城県教育委員会の動向に注目しながら、情報のモラルやリテラシーの向上に努めている。

るところである。

## 8番議員 ● 西野さん

若者が住み続けなくなる、あるいは戻ってきたくなるようなまちづくりについて、どのように考えているか。現在城里町に住んでいる若者が、将来的に城里町に住み続けたいと思うような施策があれば伺いたい。

## 【答弁】

ここ数ヶ月で町内に2つのカフェができたり、これから新道の駅がつつらが開業予定であるなど、若者が集えるスポットは徐々に増えていく傾向にある。また、他の市町村を見ると良く見えてしまったりする部分もあると思うが、城里町は今のままでも十分素晴らしいまちである。今ある城里町の素晴らしさに着目し、それを若者に知ってもらうことが重要であると考えている。もちろん改善すべきところもあるため、もう一度しっかりと見つめ直し、より良いまちづくりを継続して行っていきたい。

## 9番議員 ● 加藤木さん

町内のお祭りについて、若者が企画や運営に主体的に関われるような機会づくりや、学校との連携についてどのように考えているか。また、町外からの観光客や参加者呼び込み、城里町のお祭りをさらに盛り上げるための、今後の支援策について伺いたい。

## 【答弁】

7月に行われる七夕まつりについては、開催日を例年より早めにし、近隣で開催される他のイベントやお祭りや日程が被らないように工夫するなど、お客さんや屋台の数を確保する努力をしている。他にも町内で行われる各種イベントについては、以前より規模が拡大しているものもあり、お客さんの数も徐々に増えてきている。また、常北校の学園祭についても毎年開催しているとのことなので、町としても支援をしていくが、まずはその学園祭を生徒の皆さんで最大限に盛り上げていただき、その成功体験から得たものをぜひ城里町のイベントで発揮していただきたい。